

土砂災害から身を守ろう

雨が降り続いたりすると地盤が緩むので土砂災害が起こりやすくなります。次のような前兆現象を確認した場合は、早めに避難しましょう。

2つの警戒区域を知っておきましょう

「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」とは、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づいて東京都によって指定・告示された区域のことです。ハザードマップで土砂災害のおそれのある地域をご確認ください。(八丈島の土砂災害警戒区域などについては、平成28年、29年に基礎調査を行い、平成30年頃に公表及び区域指定予定です)

土砂災害警戒区域 (通称：イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域のこと。

- 危険な場所を点検し、防災情報を収集する。
- 避難訓練に参加する。
- ハザードマップで避難所を確認しておく。
- 土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。
- 土砂災害警戒情報などが発表された際には早めに避難する。

土砂災害特別警戒区域 (通称：レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域のこと。

- 著しい損壊が生じるおそれがある建築物に対し、移転などが勧告される可能性がある。
- 危険な場所を点検し、防災情報を収集する。
- 避難訓練に参加する。
- ハザードマップで避難所を確認しておく。
- 土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。
- 土砂災害警戒情報などが発表された際には早めに避難する。

土砂災害の前兆現象と避難するポイント

がけ崩れ・山崩れ

雨水がしみ込んで、やわらかくなった斜面が急に崩れ落ちます。



ポイント

がけ崩れの場合、がけの高さの2倍以上の距離に逃げたり、がけとは反対側の建物内の2階に移動する。

！こんな前兆現象に注意！

- がけからの水がにごる。
- 地下水や、わき水が止まる。
- 斜面のひび割れ、変形がある。
- 小石が落ちてくる。
- がけから音がする。
- 異様なにおいがする。

地すべり

地盤が弱い土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が、地下水の影響と重力でゆっくり下へ動きます。



ポイント

地すべりは比較的ゆっくりと発生するが、早め早めに避難する。

！こんな前兆現象に注意！

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにごる。
- がけや斜面から水がふき出す。
- 家、よう壁に亀裂が入る。
- 家、よう壁、樹木、電柱が傾く。

土石流

長雨や集中豪雨などで、山腹や谷川の石や土砂がいきにご下流へ押し流されます。



ポイント

土石流の場合、溪流からできるだけ離れ、流れとは直角方向に逃げる。

！こんな前兆現象に注意！

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに、川の水が下がる。
- 斜面のひび割れ、変形がある。
- 川の水がにごったり、流木がまざったりする。
- 腐った土のおいがする。

避難のタイミング～危険を感じたら早めの避難

大雨時には早めの避難

がけ下や溪流沿いなどに住んでいる人は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表されたときには、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。



暗くなる前に避難

夜間に大雨が予測される際には、暗くなる前に避難することがより安全です。特に高齢者などの要配慮者がいる場合は、移動時間を考えて早めに行動しましょう。



避難勧告などの情報に注意

大雨時には防災行政無線や広報車などによる町からの避難勧告などの情報に注意しましょう。



土砂災害からの避難のポイント

土石流、がけ崩れ、地すべりに大別される土砂災害は、被災すると生命の危険が大変高いため、災害発生前に避難を終えなければなりません。

■ほかの土砂災害危険区域は通らない

避難する際は、ほかの土砂災害危険区域(危険箇所・警戒区域など)は通らないようにしましょう。



■長雨や豪雨に注意

1時間に20mm以上、または降り始めからの降雨量が100mm以上になったときには、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。

■前兆現象を知り早めに避難

土砂災害の発生前には、前兆現象がみられることがあります。前兆現象を知ったときは、すみやかに避難しましょう。

■土石流に直面したときの逃げ方

土石流のスピードは、時速20~40kmととても速く、流れに背を向けて逃げても、追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に走って逃げましょう。

■避難が困難なときは2階以上に緊急避難

比較的高い鉄筋コンクリート造などの堅固な建物の2階以上の、斜面とは反対側に位置する部屋に避難しましょう。



大島町の土砂災害を忘れずに

平成25年10月16日、台風26号の接近に伴い、大島町元町地区では1時間に122.5mmの猛烈な雨が降り、24時間降水量では824.0mmといずれも観測史上最高値を記録。この豪雨により、流木を伴った土石流など大規模な土砂災害が発生し、死者35人、行方不明者4人に及ぶ甚大な被害となりました。

土砂災害は、毎年平均1000件以上発生しています。土砂災害から身を守るため、「日頃の備え」と「早めの避難」を心がけましょう。

